

向日市	人口 世帯数	56,538 人 25,617 世帯	面積	(65歳以上割合 27.1%) 7.72 km ²
1 地域福祉計画の策定状況				
計画の種類		他の計画と一体で策定		
計画期間		令和3年4月 ～ 令和8年3月		
計画の特徴		『人と暮らしに明るくやさしいまちづくり』を基本理念とし、目指すべき将来像を『お互いの顔が見え、地域で共に支えあい、いきいきと暮らせるやさしいまち』と定め、その実現に向けて地域福祉の更なる推進を図ります。		
2 地域福祉の課題・特性等について				
向日市人口の将来推計は、今後減少傾向にあり、高齢化率の上昇と生産年齢人口の減少も予想されています。また自治会等の地域福祉活動への参加意欲も低下しており、若年層ほど地域との関わりを求めない人が多く、地域の希薄化（地域力の低迷）が進行することも懸念しています。このような中、支援を必要とする人は増加し、相談内容も多様化複雑化し、同時に複数の問題を抱える世帯の方が増加しています。本市では、単独の相談支援機関では十分に対応できない場合は、関係各課がその都度連携して支援をしている状況であります。				
3 包括的支援体制の整備に向けた庁内連携体制等の検討状況について				
【検討の主幹部署】未定 【検討の参加部署】未定 【検討の参加関係機関】未定 【検討状況・実施状況】未定 【包括的な支援体制の構築に係る課題】 実施する人員体制の不足、庁内職員の研修や説明・専門課の設置が困難、交付金の仕組みが複雑、庁外の関係機関や住民主体の地域活動との連携・調整				
4 地域における社会資源の状況（連携状況と活動支援状況）について				
【社会福祉協議会の活動】 向日市社会福祉協議会：高齢者や障がいのある方、子どもたちが住み慣れた地域社会で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりをめざし、社会福祉法にもとづき様々な活動を行っています。社会福祉協議会へ市職員の派遣もあり、社会福祉協議会と市役所が徒歩圏内にあるため連携しやすい（協議・連絡・相談等）環境にあります。 【連携状況】 向日市が締結（連携）している業務は多種多様にあります。例えば、向日市内郵便局（6局）と「包括的連携に関する協定」を締結し、向日市内郵便局（6局）のそれぞれが保有する知的・人的・物的資源などを有効活用し、包括的な連携のもと相互に協力することで、地域の活性化及び市民サービスの向上を図ることを目的としています。また、タクシー事業者と「向日市地域安全確認等に関する協定」も締結しています。これは、タクシー事業者の日常業務において、道路や公園等公共施設の安全確認及び高齢者や子どもに対する見守り活動を実施していただき、異変を把握した場合には速やかに本市に通報していただくものです。				
5 地域福祉（地域共生社会の推進）に関する取り組み（好事例）について				
『命を守る「防災ボトル」の配布事業』を今後実施する予定です。これは向日市社会福祉協議会（主催）と向日市民生児童委員連絡協議会（共催）が連携し、防災ボトル（中身の見えるウォーターボトルに、カラビナキーホルダー・ライト・ホイッスル・アルミブランケットを同梱）を各地区の民生委員を通じて75歳以上の一人暮らしの高齢者に配布します。趣旨としては、被災時のみならず、平時における民生委員の見守り活動の強化及び防災対策への意識向上を図ります。				